

# 南越稲作情報 No1

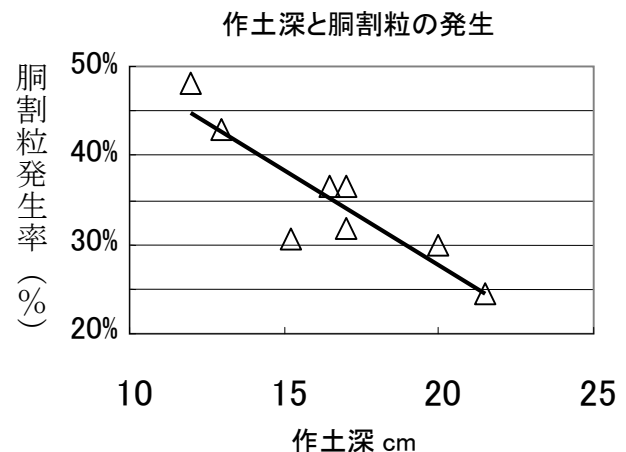
## — 稲作を始めるにあたって —

南越農林総合事務所 農業経営支援部

いよいよ稲作が始まります。基本技術の1つ1つを確実にいき、品質向上に努めましょう。

### 1 耕うん・深く耕しましょう。

近年、胴割米が多発し、耕深の浅い水田で多い状況です。良質米生産のために、耕深を深くしましょう。



### 2 田植え時・・いもち病、初期害虫

の予防粒剤を施用しましょう。

(但し、播種・育苗時に予防剤を施用していない場合のみ)

**デラウスプリンスやDrオリゼプリンス粒剤を田植え時に箱施用**

※ 量が少ないと効果がありません。適量を施用しましょう。

※ 補植用苗は5月20日頃までに除去しましょう。

### 3 肥料・・コシヒカリを5月10日以降に植えるなら、

「分施（穂肥を施用する）なら**基肥肥料は連休植えの2/3程度**とする」

もしくは 「一括肥料なら**遅植え専用タイプ**を使用する」

(※ 池田町は除く)

イクヒカリの品質低下が問題となっています。地力の高いところでは基肥肥料を減らし、過剰生育を防止しましょう。(基本：基肥 N4kg/10a+穂肥 N4kg/10a)

### 4 農薬使用・・薬剤の使用法を遵守するとともに、飛散を防止しましょう。

・野菜等の作付け圃場や減農薬米栽培圃場等への薬剤飛散防止のため、水稻作付けの団地化を行いましょ。

・育苗ハウスで水稻育苗後に野菜等の作付けを行う場合は、水稻育苗箱の下にビニール等を敷き、農薬の土壌浸透を防止しましょ。

・農薬を散布したら、必ず記帳しましょ。